

2018年9月18日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、世界農業遺産の情報発信支援

凸版印刷が展示制作を受託した岐阜県の「清流長良川あゆパーク」が、
来場者 10 万人を突破

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金子眞吾、以下 凸版印刷)は、岐阜県が内水面漁業の振興と世界農業遺産※1「清流長良川の鮎」に関する情報発信拠点として 2018 年 6 月にオープンした「清流長良川あゆパーク」の展示設計製作ならびに映像制作を受託しました。

凸版印刷は「清流長良川あゆパーク」の、長良川流域の水中映像、空中映像および陸上映像を交えたダイナミックな映像コンテンツと、鮎漁や伝統工芸品をはじめとする長良川流域の文化や歴史を紹介する常設展示の企画・設営を受託。同館は、2018 年 8 月 26 日に来場者 10 万人を突破しました。



多面シアターのある「里川あゆハウス」外観

■ 凸版印刷が受託した展示について

・多面シアター(設計施工/映像コンテンツ制作)



シアターは 4 壁面(正面/両側面/床面)をスクリーン化し投影することでダイナミックな没入感が得られます。

映像コンテンツは水中・空中・陸上からの 3 つの視点で長良川流域の生物多様性(自然)・環境保全(植林)・伝統漁法(あゆ漁)・伝統工芸など、清流長良川を守り、育み、生活する人々の営みを一つの物語として制作しました。

・常設展示(企画・制作・施工)



「清流長良川の恵みの逸品」や伝統漁法の鵜飼漁に関する展示を実施。また、ウェルカムウォールの製作に左官職人「挟土秀平(はさど しゅうへい)」氏※2(職人社秀平組 / 岐阜県高山市)を起用。「清流長良川」の水流をイメージした左官で壁面を施工しました。

■ 「清流長良川あゆパーク」について

世界農業遺産「清流長良川の鮎」は長良川上中流域の人の生活、水環境、漁業資源が連環する里川のシステム「長良川システム」として 2015 年 12 月に認定されました。「清流長良川あゆパーク」は長良川が地域住民の暮らしの中で清流が保たれ、鮎が育ち、地域の歴史、文化、経済と深くつながっていること、すなわち「長良川システム」を、楽しみながら学び・体感できます。魚釣りや鮎のつかみどりなどの漁業体験のほか、つかまえた魚をその場で食べる屋外炊事体験、間伐材を利用したクラフト体験などの体験メニューも用意しています。

名称	清流長良川あゆパーク
所在地	岐阜県郡上市白鳥町長滝 420-10
利用時間	9:00～17:00
利用料金	無料(体験には参加費が必要)
URL	http://ayupark.jp/

■ 凸版印刷のデジタル文化財を活用した地方創生支援への取り組み

近年、自治体や商業施設などにおいて、市民意識の醸成や、訪日外国人をはじめとする旅行者の誘致による地域経済の活性化など、地方創生への取り組みが本格化しています。こうした中、VR や AR などの映像技術を活用して地域の文化遺産をデジタルアーカイブ化・コンテンツ化することで、歴史理解の促進や新たな観光資源として活用する取り組みが拡大しています。

凸版印刷では、地域のさまざまな文化遺産などを人々が誇りを持てる観光資源として活用し、映像コンテンツの制作はもちろんのこと、臨場感と没入感を体験できるシアターなど、最新のデジタル表現技術を用いた、地方創生支援を展開しています。

※1 世界農業遺産(Globally Important Agricultural Heritage Systems : GIAHS)

その土地の環境を生かした伝統的な農林水産業や、生物多様性が守られた土地利用、農村文化や農村景観などが一体となり、維持保全が図られている世界的に重要な地域を後世に引き継ぐことを目的として、2002 年に FAO により創設されました。

※2 挟土秀平氏

岐阜県高山市に左官職人社「秀平組」を構え、主な作品として NHK 大河ドラマ「真田丸」題字、洞爺湖サミット(テーブル制作)など数多くの作品を手がけています。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上